

近海漁業へ乗りだす

.....八代丸船団.....
来月二日に初出漁

沿岸漁業の不況を打開するため八代市水産課および同市大島漁民は近海漁業に乗りだすことになり、

市の調査船八代丸（四ト）をリーダー船として大幸丸、恵比須丸、

勢栄丸、くん幸丸の四隻（二トから三ト）が船団を組み十一月二日

対馬東海岸に初出漁する。これに

先立ち市では二日午前九時から議

会会議室で村上議長をはじめ漁協

関係者およそ五十人が集まり盛大

な壮行会を開くことになった。最

近の沿岸漁業の不況に加えて大島

地区の漁民は冬場のノリ養殖もで

きないところから市水産課の協力を得て近海漁業に乗り出すことに

なったもの。

出漁するのは市水産課員吉崎十四樹さんをはじめ船団員の片岡優さんら調査員、乗組員あわせて十六人で、一行は二日午前十時八代市蛇籠港を出港、対馬東海岸の中央部佐賀港に基地をもうけ、来春一月末までの予定で寒イカの操業を行なうことになっており、期待がよせられている。